

[ R18 ]  
— FOR —  
ADULT  
ONLY  
— ]



この  
の  
地獄  
にして

君  
を  
赤  
心  
う



一年前！

この世から！



毎日平均の生活も  
この世を半ばは  
こなしてはいたが、  
半ばははたして  
いた。

カダイジの  
事件から  
戻っていた。



だが！



再び二度と  
目の前と  
目の前  
に現れ  
ないで  
いた。

そんな！

この日、







君を恋う

この地獄にて





その、無様に  
動揺し、頼れぬ  
態度も

やめろ。  
経たぬから何年  
経つたかと思ってる。



そんなことにいちいち  
気を配るのが  
馬鹿らしいだけだ。

ふざけるな。



落ち着いたな。  
すっかり  
大人になった  
じゃないか？









死論はよせ。



遠年の  
越しの  
記念だ。



例示  
して  
しま  
う。

半ば本  
だ。  
私に  
向  
け  
る  
た  
だ  
の  
面  
を



白  
面  
着  
い  
て  
開  
け  
し  
よ  
う  
目  
な  
話  
を

……  
ま  
あ、  
さ  
て  
お  
は  
い、  
だ。



出命放  
来を保  
ない証  
おけ  
はば、

クラウド。  
今、お前の中のS細胞が、  
突然変異を起している。



私とS  
細胞  
との接  
触だ。

今の接  
触で、  
効果少  
なり感  
あるだ  
ろ感じ  
て

それはお前を触として  
いる、しかし……

止める  
方法  
はある。





現  
在  
一  
て



「いや、  
まだだ。」



「もう…今日は十分だろ  
セアイロス!!」



「生きてくれれば、  
私を拒むな、  
私を救えればいい。」



セックスしてるんだけど

あは？  
なんだと



おれではないか。



そりゃさうだ。

カッ  
カッ



助任今そぶとのう  
必僅おだ  
聖い面  
ゴ肉の  
あ林歌  
る同態  
'種で  
をほ、





私とお前の結びつきが  
何とお前になるほど  
導的だと思われないか。

クラウド……  
お前が私を  
っしがる姿を  
見せてくれ。

セフィロスは日く、  
悪の手段がする為の  
体



液質あし液んがたの……

強結肉性  
化び体行  
でつ回為  
あま土に  
るのの上  
る





そろそろいいよ。  
ほら、出さなきゃ。



共同生活を始めてから、  
セブイロスとはは  
つは毎夜の内的関係を  
持つようになった。



唯も、唯も。









セフィロス。

何その意図がある。



お前の私は何だと思ってるのか。



それ、マダモウカ。



おい、







教壇に  
教えてくれよ。

あなたのこと。



お前さん  
は、  
何年か  
前まで  
あった  
んだ。

本職が  
お前さん  
か。



あなたを  
救う

今は  
誰か



木下...



あんた、  
泣けるんだな。



動揺した。

ああ、  
私が飲われるなど、  
可哀しい話だな。



仕事終わりで  
呼び出されて  
すまない。

さあ、帰ったら  
キアタスするが

んげ



ああ、  
あんたに  
戻し事は  
無理かと。



お前は所詮  
それくらい  
判るものだ。









なら、  
今はどうだ。



自前と繋がることで、  
自分を振り回せる。



サキ

グス

こんな風に、



呼吸が静まり  
なびのびと深く  
感じられるほど  
足さぬが、より強く  
はたいていく強く  
……



グア……  
アア……  
アア……



やはり私には  
お前しか届かない！



心は  
届れど  
よい。







解さるな。  
わがんで、中々に面白い。



あんた、  
受け入れていいのか。

ゆつとくけど、  
結構苦しいぞ。



気持くほど  
してやるから。

それは  
寂しみだな。



お前のほうは  
そんなに  
大丈夫だから。

……





自他散々あんなに  
目黒かれてるんだから、

初めてだよ



自他上手いな、  
いい男を  
いたことでもあるのか。



そのままだ  
かえしてやる。

あんなに  
きれてきたこと



あんなにいいから  
買ってあげられてる

あ...



買われては  
しんどい





何しても  
かっこいいんだぞ。



あんた！



どんなに  
愛わってほ  
も

セファイロス様は  
愛したあんなに  
愛したあんなに  
愛したあんなに



愛したあんなに  
愛したあんなに  
愛したあんなに



セファイロスよ。



その、その、  
その、その、  
その、その、











ヤバい...  
胸まわりが良すぎて  
もろくイキそう！



何



クラウド…



このままじゃだめだ。

中を閉じてくれ。



この世に、  
帰って来てくれ…





ありがとう。



お前は、  
唯一無二だ。

お前との繋がりは、  
最後の絆だ。あんなとする



夢ったな！  
救われたか初めてだ。



皆生殺に、  
無情に等しかった。

「特私は、胸心ついた時から  
願望で、他の人いた時から  
願望引いて手まできた。」



それは「友」を失い、  
より強くなつた。



しかし、お前と居ると  
これ以上に無い程の  
張り翫りを感ずるの  
何心だろるか

こんなことを  
今更言っても  
無言にしかならんぞ……



……クラウド。

私の  
どうしようもない孤独を  
癒せるのはお前だけだ……



今はあんた無しでは  
この体を保つことすら  
難しいんだ。

俺も、

やめてくれよ、

共に生きて、  
罪を償え。  
セフィロス。

—あんたは、絶対に赦されてはならないんだ。